

安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議
地球規模課題ワーキンググループ
趣意書（案）

1. 方針

地球や人類の持続可能性や安全を脅かす環境破壊や貧困などの地球規模の課題を解決するためには、私たち一人ひとりが、世界の現状について知り、自身の生活との繋がりについて考え、それぞれの立場でアクションを起こしていく必要がある。そこで、国内の消費者や労働者、経営者や投資家の眼を地球規模の課題に向けさせ、その解決に参画していくための身近な糸口を提供する方策を、国際的な視点から検討する。

円卓会議の総会で承認された「協働戦略の策定に向けた作業計画」に示された上記の方針と本円卓会議の趣旨に鑑み、本ワーキンググループでは、国際的な視点を保ちながら地球規模の課題の解決に向けてマルチセクターによる具体的な行動を促す戦略を策定することを目標とする。

2. 検討課題

世界的な人間開発を推進する上での喫緊の課題を解決するために定められた「ミレニアム開発目標」に含まれる諸課題や、環境破壊などの地球規模課題に対して、あらたな協働のあり方を確立することを念頭に置き、初年度は以下の課題について取組む。

① 貧困・開発問題

貧困削減の方策としては様々なものがあるが、本円卓会議で実現すべき価値やそのための条件として「信頼性のある公正な市場環境の整備」というキーワードが掲げられている。フェアトレードやエシカルトレード（倫理的な取引）、BOP (Base of Pyramid) ビジネスといった、既存の価値観を超えた新たなビジネスモデルの可能性が大きな関心を集めている。また、次代を担う子どもたちの健全な成長と教育、基本的な権利・欲求を奪う児童労働は、公正な労働環境や公正な取引を阻むもので、地球規模での持続可能な発展をも妨げることになる。さらに、2015年の目標年を目前にして達成が危ぶまれているミレニアム開発目標についても、啓発を含めたマルチステークホルダーの取り組みが求められている。ゆえに、以下の4つの課題に取り組むこととする。

- (ア) フェアトレード
- (イ) 児童労働

(ウ) BOP (Base of the Pyramid)

(エ) ミレニアム開発目標

② 環境問題

最も緊急な課題のひとつであり、一般的な関心も高いのが地球温暖化の防止であるが、これについては国連気候変動枠組条約をはじめとした多くの取組が既になされている。また生物多様性保全についても国際的な取り組みがすでに進んでいる。森林の保全は低炭素社会の実現や生物多様性の確保のためにも喫緊の課題である。今後さらなる各セクターの参加による国内外での取組が必要とされている。

(ア) 森林保護

(イ) 低炭素社会の実現

(ウ) 生物多様性

3. 運営体制・進め方

主幹事はNPO/NGOグループが務めている。今後、WG立ち上げにあたって、すべてのセクターからの参加を希望する。これまで把握している参加の意向団体、また政府においては参加を要請したい団体は以下の通り。

(2009年10月15日現在)

WG準備会合参加検討団体一覧 (敬称略)	
事業者	
消費者	日本生活協働組合連合会、他
労働組合	日本労働組合総連合会
金融	大和証券投資信託委託株式会社、他
政府	経済産業省、外務省、環境省、他関係省庁
専門家	一橋大学大学院法学研究科教授、他
NPO/NGO (主幹事)	CSO ネットワーク 特定非営利活動法人シャプラニール 特定非営利活動法人 NICE 特定非営利活動法人難民を助ける会 地球環境パートナーシッププラザ 特定非営利活動法人 ACE 特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター

2010年3月30日更新

地球規模課題WG NPO/NGO セクター作成

4. スケジュール

初年度は現状把握、経験・情報共有、事例研究に主に努め、本ワーキンググループに
参画するセクター間の積極的な連携も同時に促す。

月	目標と会議など
4月1日～20日	委員の選出
4月22日(木) 16時半～18時半 (予定)	<u>WG準備会合(第3回)</u>
4月中・下旬	<u>運営委員会</u>
5月上旬	<u>戦略部会・総会</u>

5. 予算

WG準備会合等で行動計画協議後、検討を行う。

以上